

Web-CPDSのガイドライン

①はじめに ・費用 ・ご注意いただくこと	②Web-CPDSへの加入	③問題について ・出題形式 ・問題の保存について ・答案の提出
----------------------------	---------------	--

①はじめに

Web-CPDSはCPDS加入者を対象としています。

当Web-CPDSは、インターネットにより出題される関連問題を解いて、合格すれば自動的にユニット(学習単位)が取得・登録される継続学習システムです。加入費のみの負担でユニットは無料で登録されます。

加入から1年間利用できます。

学習履歴証明書発行時に、インターネット学習以外のユニット全てを合計した値と同じユニット数までインターネット学習のユニットを反映することができます。

ただし、インターネット学習以外のユニット数が6ユニット以下の場合は上限を6ユニットとします。(現状のユニットを担保する為)

[1]費用

	Web-CPDS加入費
会員	2, 200円
無所属	6, 600円

※会員とは連合会に登録されている全国技士会の個人会員を指します。

[2]ご注意いただくこと

当Web-CPDSはフレーム・JavaScript・クッキーを使用しております。

<<推奨ブラウザ>>

- ・ Google Chrome Ver.70以上
- ・ Microsoft Edge Ver.79以上

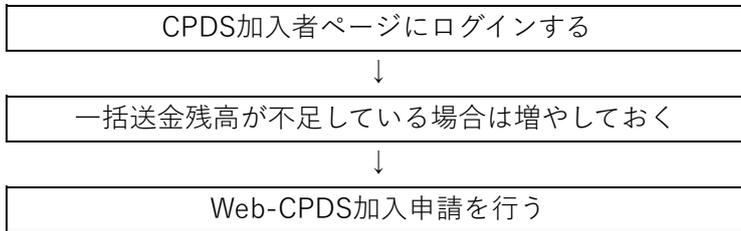
※推奨ブラウザ以下のバージョンを使用している場合は正常にシステムが動作しない可能性があります。

②Web-CPDSへの新規加入

Web-CPDSの新規加入の手続きは以下のようになります。

Web-CPDSへ新規加入するには事前にCPDSの個人IDを取得している必要があります。

- ※ CPDS新規加入、ログイン、CPDS一括送金申請の手順については、個人IDの基本操作マニュアルを参照して下さい。



CPDS一括送金残高	¥14,700
お支払い金額	¥6,500
引き落とし後の残高	¥8,200

「Web-CPDS 加入申請」をクリック

【必ずお読みください】を確認し、「同意して申請」ボタンをクリック

③問題について

[1]出題形式

- ・問題は専門分野12項目から1分野を選択していただきます。

[0212010] Web-CPDS 問題一覧

新規問題集(専門分野選択)							
基本(土木施工管理)	施工計画212	工程管理213	原価管理214	品質管理215	安全管理216	工事の環境対策217	工事関係法規218
専門1(利用度の高い専門工字と基礎工字)	土工221	コンクリート工222	基礎工223	鋼構造物224	基礎工学225		

[問題の表示](#)

- ・選択した分野から10問が出題されます。
- ・各設問は全て選択問題（4択）です。

[0212020] Web-CPDS 問題

専門分野：施工計画212

[结束](#) [保存](#) [回答](#)

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

問1: 施工計画の策定に関する次の記述のうち選出でないものはどれか。

参照 CPDSテキスト1 改訂2 2章 2.2 2.4

- 1. 施工計画を決定するときは、一つの計画のみでなく、いくつかの代案を作り、経済性も考慮した長所短所を種々比較検討して、最も適した計画を採用する。
- 2. 施工計画の検討は、現場の技術者のみにたよることなく、できるだけ社内の組織を活用し、全社的な高度の技術水準で検討することが望ましい。
- 3. 土木工事は、過去の実績や経験が重要であり、施工計画の決定にはこれらを最大限活用することが要求され、理論や新工法に重点を置くことは好ましくない。
- 4. 契約工期は、施工者にとって手持資材、労務、適用可能な機械類などの社内的な状況によっては必ずしも最速工期であるとは限らない。

[前の問題へ](#) [次の問題へ](#)

[2]問題の保存について

問題は解答途中のものを保存しておくことができます。

<<保存方法>>

Web-CPDS 問題画面の 上部右の「保存」ボタンをクリックして下さい。

[0212020] Web-CPDS 問題

専門分野：施工計画212

[结束](#) [保存](#) [回答](#)

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

問1: 施工計画の策定に関する次の記述のうち選出でないものはどれか。

参照 CPDSテキスト1 改訂2 2章 2.2 2.4

- 1. 施工計画を決定するときは、一つの計画のみでなく、いくつかの代案を作り、経済性も考慮した長所短所を種々比較検討して、最も適した計画を採用する。
- 2. 施工計画の検討は、現場の技術者のみにたよることなく、できるだけ社内の組織を活用し、全社的な高度の技術水準で検討することが望ましい。
- 3. 土木工事は、過去の実績や経験が重要であり、施工計画の決定にはこれらを最大限活用することが要求され、理論や新工法に重点を置くことは好ましくない。
- 4. 契約工期は、施工者にとって手持資材、労務、適用可能な機械類などの社内的な状況によっては必ずしも最速工期であるとは限らない。

[前の問題へ](#) [次の問題へ](#)

再度設問に答える際には、Web-CPDS問題一覧より「再開」ボタンをクリックして下さい。

[0212010] Web-CPDS 問題一覧

新規問題集開始

保存中の問題集						
保存中の問題集番号	保存日	締切日	専門分野	ユニット数(学習時間)	再開	削除
0514160145	2022/05/14	2022/07/14	施工計画212	1	再開	削除

以下に保存問題の制限を示します。

- ・ 同時保存可能な問題の数は2つまでです。
- ・ 問題自体を削除したい場合は、Web-CPDS問題一覧画面の「削除」ボタンをクリックする、または、Web-CPDS 問題画面の「破棄」ボタンをクリックすることで削除されます。
- ・ 保存中の問題は回答しないままだと2ヶ月で自動的に削除されます。

[3]答案の提出

- ① 問題を解き、正しいと思う選択肢のボタンを選択して下さい。
- ② 次の問題を表示する場合は、画面右下の「次の問題へ >」ボタンをクリックして下さい。
- ③ 前の問題に戻りたい場合は、画面右下の「< 前の問題へ」ボタンをクリックして下さい。
- ④ 全問題を解き、画面右上の「回答」ボタンをクリックしてください。

[0212020] Web-CPDS 問題

専門分野：施工計画212

破棄 保存 **回答**

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10

問1: 施工計画の策定に関する次の記述のうち適当でないものはどれか。

参照 CPDSテキスト1 改訂2 2章 2.2 2.4

- 1. 施工計画を決定するときは、一つの計画のみでなく、いくつかの代案を作り、経済性も考慮した長所短所を種々比較検討して、最も適した計画を採用する。
- 2. 施工計画の検討は、現場の技術者のみにたよることなく、できるだけ社内の組織を活用し、全社的な高度の技術水準で検討することが望ましい。
- 3. 土木工事は、過去の実績や経験が重要であり、施工計画の決定にはこれらを最大限活用することが要求され、理論や新工法に重点を置くことは好ましくない。
- 4. 契約工期は、施工者にとって手持資材、労務、適用可能な機械類などの社内的な状況によっては必ずしも最速工期であるとは限らない。

< 前の問題へ 次の問題へ >

- ⑤ 回答の正誤、解説を表示します。
80点以上の場合を合格とし、ユニットが自動登録されます。
学習履歴一覧でユニットが確認できます。